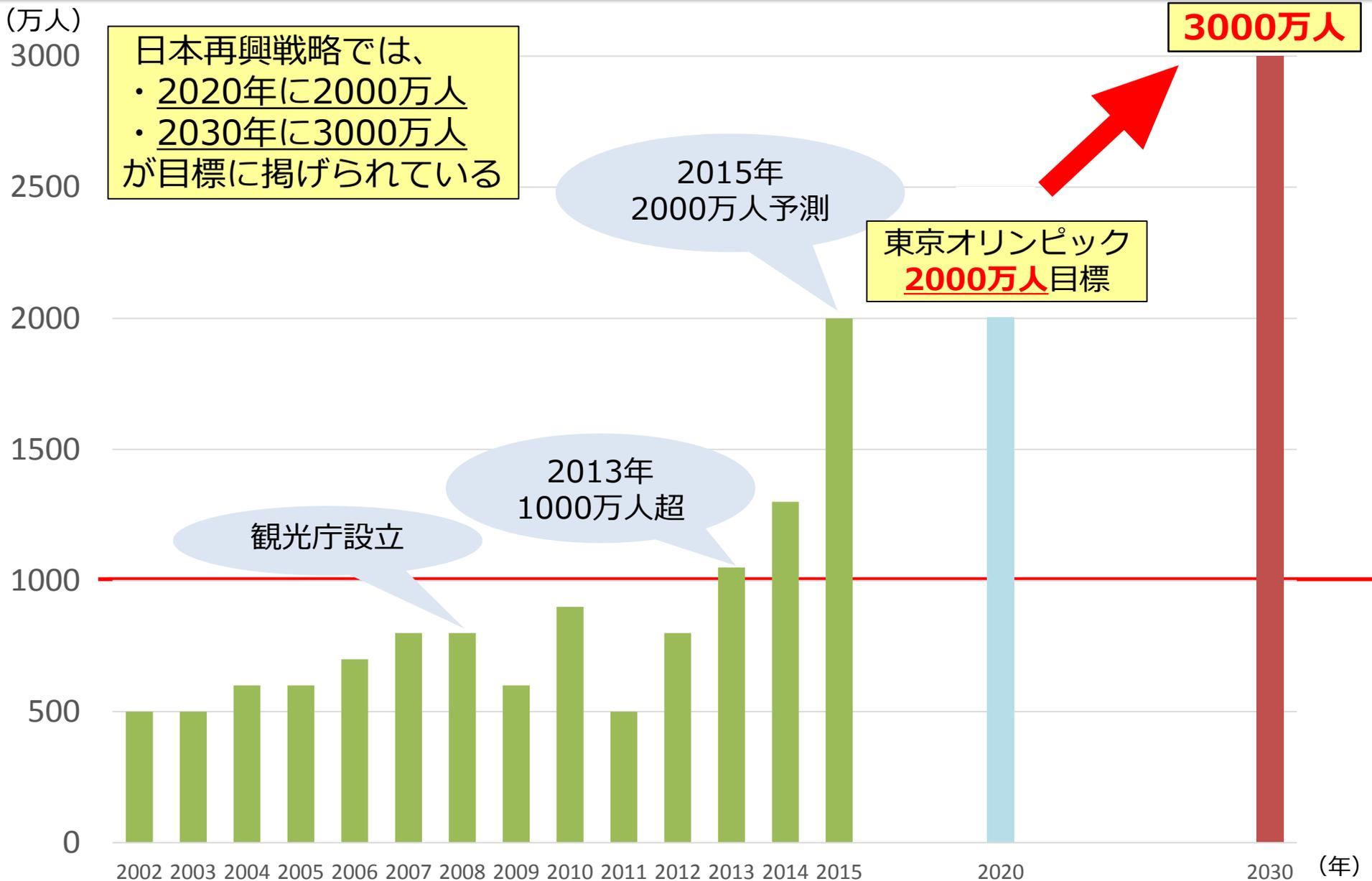


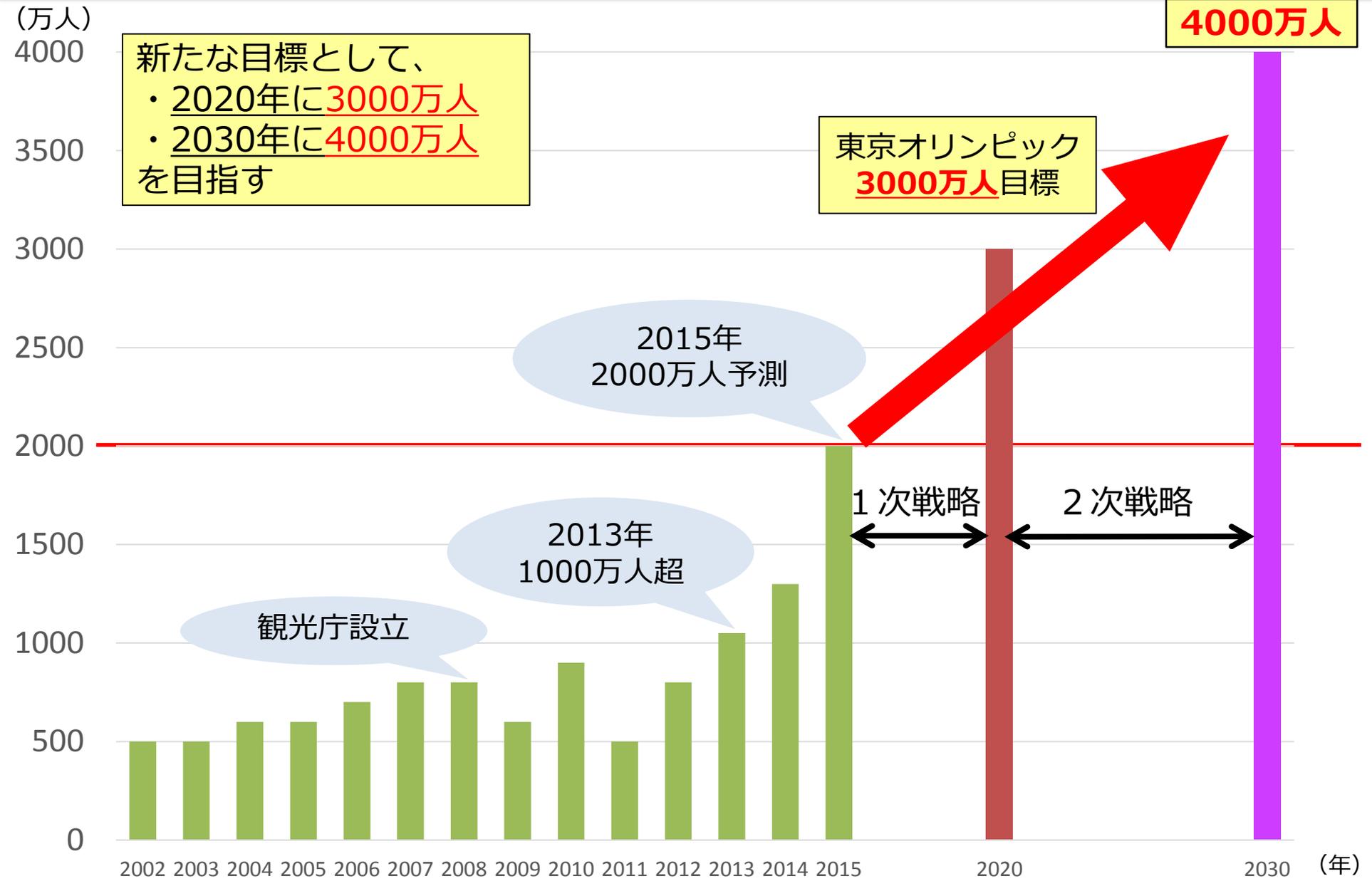
# 「次の時代の新たな目標」 と 「必要な対応策」

関西国際大学 客員教授  
李 容淑

# 現在の政府目標

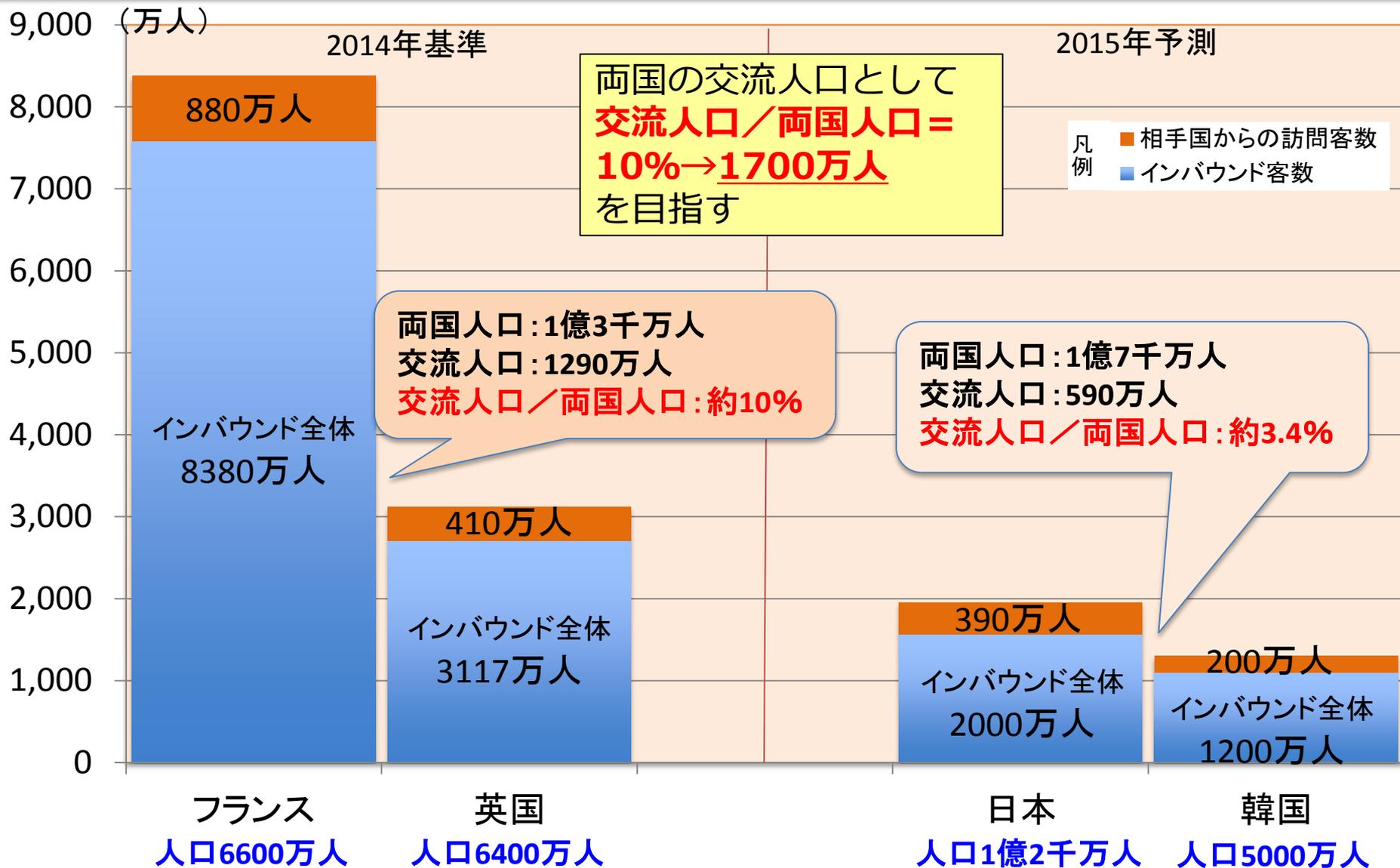


# 今後の新たな目標（案）



# 日本・韓国における両国交流人口の目標(案)

— 英国・フランスの例を参考に —



# 「2020年3000万人」「2030年4000万人」 を目指していく上で取り組むべき課題・方策（案）

## ◆ 外国人観光客をもてなす「サービス人材不足の解消」

### ○人材育成

- ・ 大学での「イバウト」学科 開設や ホテル・旅館の経営人材育成、観光産業への就職支援
- ・ 小中学校の語学教育の徹底、海外からの修学旅行生との交流促進（学習指導要領）

### ○人材確保

- ・ 通訳ガイドの合格者数の増加、ランク分け制度の整備、  
最高ランクの通訳ガイドのみ案内できる「プレミアム観光施設」の充実

## ◆ CIQ体制、宿泊施設、2次交通の「キャパシティー問題の解消」

○ 空港ごとのCIQ待ち時間公表による見える化、自動化ゲートの外国人観光客への利用拡大

○ ホテルの新規投資の前に、まず既存の古民家や空き部屋のリノベーション、  
民泊ルールの整備、廃校施設のイベント場などへの転換

○ 外国語対応ナビ付きレンタカーの促進、鉄道（JR・民間）やバスの全国共通カード化、  
訪日後でも「Japan Rail Pass」の購入を可能に、自転車ロードの拡充

## ◆ 外国人観光客を魅了し続ける「観光コンテンツの開発と消費の拡大」

○ 伝統産業と精密産業が融合した文化体験プログラムの開発（日本酒・酒蔵と観光）

○ 外国のクレジットカード・キャッシュカード対応ATMを、全国のコンビニで利用可能に

# 海外の日本ファンを増やす 「POWER JAPAN」戦略

## ◆海外への「情報発信力の強化」

### ○現地での日本ブーム創出

- ・ JNTO海外事務所の拡充（首都だけでなく、地方都市にも）
- ・ 「JAPAN TOWER」の設置（まるごと日本文化体験の拠点に）
- ・ 現地進出の日系企業らによる「日本観光博覧会」の開催
- ・ 日本の「安くて良いもの（食・旅・製品など）」をSNS上で発信する専門ブロガーの養成

### ○観光パフォーマンス広報戦略

- ・ 総理自らの出演による直接広報（有名芸能人の参画を誘導）
- ・ 外国人向け観光警察制度の導入検討  
（韓国では、ソウル市内から地方都市へも拡充予定）

# 韓国の観光警察



# 大阪府大東市旧深野小学校の廃校でイベント体験



# 大阪市城東区蒲生市 古民家宿泊地

